

1回 JR 貨物による輸送品質改善・更なる役割発揮懇談会の概要について

【問い合わせ先】

鉄道局JR・国鉄清算業務監理室

荻原、杉田、古橋

代表:03-5253-8111 内線:40242,40223

直通:03-5253-8530

1. 3月5日(月)15時00分から、国土交通省3号館2階特別会議室において、「第1回 JR 貨物による輸送品質改善・更なる役割発揮懇談会」が開催されました。
2. 出席者は別紙のとおりです。
3. 今回の懇談会では、国土交通省から、懇談会設置の趣旨及び進め方について、JR貨物から、「JR貨物による輸送品質改善アクションプラン」(骨子)について説明がなされ、その後、意見交換が行われました。意見の概要は以下のとおりです。

(1) 輸送障害時の対応

- ・ 事故情報、復旧見込、代行輸送等の対応方など事故情報の一連のルール化ができないか検討していただきたい。
- ・ 会員企業の意見の中で、輸送障害時に情報がこないし、障害で止まっている場所に自分で引き取りに行ってもその経費を払ってくれないという事例があった。
- ・ 通運業界としても、輸送障害時におけるしっかりとした対応策が必要と考えている。
JR貨物も日常的に通運のトラック輸送を使い、緊急時のトラック輸送能力を確保できるよう協力して欲しい。
- ・ 輸送障害時の対応策が知られていない。

(2) 輸送余力・オフピーク輸送への協力

- ・ 運びたいときに枠が取れるようにしていただきたい。
- ・ 売れ筋列車の輸送枠がとれない。
- ・ 不急品については、閑散時間帯の輸送に協力できる。
- ・ 通運業界としても、オフピーク輸送に是非協力したいが、その効率化の果実については分かち合うことが必要。

(3) きめの細かい対応

- ・ (各業種から) 品質管理や積載効率の向上のための更なる工夫により、信頼性の向上やコストの削減につなげていくことが必要。

4. 以上のような意見を踏まえ、3月下旬から開始する各業種毎のヒアリングにおいて、輸送障害時の改善策をまとめて説明するとともに、JR貨物の輸送品質の改善につながる個別の課題を抽出してさらなる対応策を議論していくこととなりました。

第1回JR貨物による輸送品質改善・更なる役割発揮懇談会出席者

【挨拶】

国土交通省 鉄道局長

平田憲一郎

【座長】

国土交通省 鉄道局次長

大口 清一

【荷主業界】

日本鉱業協会 輸送部会長

伊原 信満

(社)電子情報技術産業協会 電機電子温暖化対策連絡会荷主WG代表

小島 久史

石油化学工業協会 物流委員会企画小委員長

河本 裕

日本路線トラック連盟 常務理事

小室 秀明

(社)日本電線工業会 常務理事

下出 雅義

全国農業協同組合連合会 常務理事(物流担当)

神出 元一

(社)日本倉庫協会 業務部長

森本 洋

(社)日本自動車部品工業会 専務理事

高橋 武秀

(社)日本冷凍食品協会 会員業務・調査部長

種谷 信一

(社)鉄道貨物協会 理事長

二森 茂輔

【JR貨物・通運業界】

日本貨物鉄道株式会社 代表取締役副社長

小林 正明

代表取締役専務

田村 修二

(社)全国通運連盟 理事長

星野 茂夫

【国土交通省】

国土交通省 鉄道局JR・国鉄清算業務監理室長

篠部 武嗣

貨物鉄道調整官

野澤 和行

国土交通省 総合政策局複合貨物流通課長

最勝寺 潔